

公益活動報告書（市民活動実績報告書）（令和5年度分）

（宛先）岡崎市長

令和6年4月9日

団体名 ひきこもりを考える会 ゲートキーパー「おじぎ草」

代表者 構成員 6人（※令和6年4月1日時点の構成員数）

団体の目的：団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

ひきこもりの状態で悩んでいる方や、ご家族、関係者の方に寄り添い、関わりを通して、孤立や孤独を防ぎ、各々の人生をどのように充実させていくかを共に考えることを目的とします。

私達の団体が掲げる目的を実現するための活動を、以下の項目に従って報告します。
 なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■ 1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどんな活動をしましたか（公益活動に限る）。

活動日 又は期間	場 所	公益※1を受けるのは 誰（何）か	受益者数		活 動 内 容	公益を受けるものに どのような効果があったか
			会員以外	会員※2		
令和5年 4月23日	岡崎市 社会福祉 センター	市民（参加者）	18	6	「障害年金」について 専門家の方に説明を していただきました。	「障害年金」について知る ことで、手続きの方法や時 期を考え、必要に応じて支 援を受けることができる。
6月4日	岡崎市 社会福祉 センター	市民（参加者）	3	2	ひきこもりに関して、 平日「集い」に向く ことが難しい方に「日 曜家族会」を開催。	ひきこもり状態にいる方ご 家族が、話したり情報を得 ることで、現状改善や、新た な活力を得て子と向き合える。
11月17日	岡崎市 社会福祉 センター	市民（参加者）	3	2	ご家族が集い、困って いることを話したり、 情報を共有したりす る「家族の集い」開催。	ひきこもり状態にいる方ご 家族が、話したり情報を得 ることで、現状改善や、新た な活力を得て子と向き合える。
令和6年 1月26日	岡崎市役所 分館	市民（参加者）	4	3	ひきこもり当事者・経 験者が集い、話をする など交流の場「本人の 居場所」開催。	ひきこもり状態の方が、話 したり情報を得ることで、現 状改善や、新たな活力を得て 生活ができる。
3月12日	岡崎市 額田センター 「こもればかん」	市民（参加者）	3	1	不登校・ひきこもり家 族相談を開催し、個別 で相談対応。	ひきこもり状態にいる方ご 家族の話しを伺い、一緒に考 え、情報をお伝えすることで 状況の改善につなげる。

※1 **公益** 市に登録した分野での活動で、広く市民社会一般にもたらされる利益（公益が団体や、その構
成員や会員に対してもたらされる活動は、公益活動には当たりません。）

※2 **会員** 構成員であるなしに関わらず、公益の提供者として会の活動に参加する人

☆記載欄が足りない場合は、別紙を添付する形でも構いません。

■ 2 前項1に基づき、活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください（数字に○をつけてください）

高い ← ⑤ 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください

電話で相談連絡を下された方や、「集い」や「居場所」に参加をされ方から「こういった場所を探していた」「相談先がなくて困っていた」とお言葉をいただく機会が増えたため。又、本年度は活動を理解して下さる窓口が増え「8050」問題に関して「相談会」や「個人宅同行訪問」の依頼などがあり、良かったと言っておきいただく機会が多かったから。

裏面の自己診断チェックリストをご確認ください。